

令和5年度 豊海小学校 外部評価報告書

評価委員：宮森孝一 委員長、山内栄一郎 副委員長、赤熊弥生委員
塩原大亮委員、今西雄一委員

報告書作成者：今西雄一委員

評価時期 令和6年2月

1 重点目標の評価

重点目標1について

○確かな学力の定着

- ・自分の考えや知識を発表する機会がもっとあればとの意見が出ているが、児童自身が相手に教える時間をつくることも取り入れてはどうか。
- ・低学年からタブレット端末ばかり使っていると、文字を書くことが十分身に付かないことが懸念される。デジタルならではのよさを生かして目的をもって使うこと、アナログとバランスよく使うことが必要である。
- ・豊海塾は、学校と保護者が一緒に行っていけるとよい。この取組が学校と地域とのつながりの一つとなると思う。

重点目標2について

○豊かな心の育成

- ・こちらから働きかけないと挨拶が返ってこないことがある。挨拶が日常的になることが大切である。
- ・小学校と幼稚園との連携がとてもよい。異年齢との関わりの中で学ぶことが多いと思う。
- ・児童の性格などは保護者が一番分かっていると思う。学校と家庭で情報連携することが、いじめを含めた問題への対処がしやすくなるのではないか。

重点目標3について

○健康な体づくりと体力の向上

- ・小学校では、体づくりのためにも学習だけではなく仲よく遊ぶことも大切だと思う。これからも地域の代表として児童のために協力したい。
- ・児童が安心して遊べる場が少ない。遊ぶ場を確保することが体力の向上にもつながる。

2 今後の改善に向けた意見

- ・学校評価の結果は、昨年度と比較した検証が必要ではないか。
- ・学校評価の項目が多岐にわたっており、改めて学校に求められていることが多いと感じる。全て学校で指導することは難しいのではないか。各家庭での指導も必要である。

3 その他の意見

- ・今後も保護者とのつながりを大切にしながら取組を進めてほしい。
- ・保護者への情報発信については、今後も紙を削減する方向で進めてほしい。